



ごあいさつ

校長 西山 幸代

本校のホームページをご覧くださいありがとうございます。

令和7年度、長崎特別支援学校は、通学教育と訪問教育の児童生徒43名、教職員56名でスタートしました。これまで以上に明るく活気あふれるクルー（教職員組織）とともに、子供たちにとって毎日行きたくなる学校 保護者にとって通わせたい学校 地域にとって応援したくなる学校 教職員にとって働きたくなる学校、来校者にとってまた来たい学校を目指してまいります。本校の校章は、大空を力強く飛ぶ鶴の美しい姿を描き、子供の「あこがれ」と「ねがい」を托し、両翼の三枚の羽根は教育・医療・家庭三者の強い絆を表しています。いずれの羽根を欠いても飛べない鶴に、三者の強い団結を誓うものです。今年度も、保護者、病院、地域の皆様のより一層のご理解とご支援をお願いします。

次に今年度の本校における重点的な取組を紹介します。

1 ちょーとくミッション2025（長崎特支の未来像を描く羅針盤）

令和6年度から3年計画で進めている「ちょーとくミッション」では、まず戦略マップを作成し、学校の魅力化に向けた取組について、全職員一人一人が積極的に意見を出し合う場を設けることからスタートしました。“児童生徒、保護者、職員のウェルビーイング”を目指して私たちチームだからこそのできることを合言葉に、働き方改革（働きがい改革）を推進しているところです。具体的には、本校の課題「魅力化マネジメント」「専門性向上と人材育成」「質の高い授業改善」「コミュニティ・スクールの基盤づくり」など8つの課題を示しました。それらの課題達成に向け、各部、各分掌、一人一人が熱意や誇りをもって未来を創る教育に取り組めるように、目標達成まで諦めずにスピード感のある学校組織にしたいと考えます。

2 地域の応援団を活用したコミュニティ・スクール

第二期長崎県特別支援教育推進基本計画第二次実施計画を念頭にコミュニティ・スクールの実現に向けて取り組んでまいります。まずは、積極的な取組をしておられる学校の好事例を学んだり、地域資源の活用や組織への参画方法をステップ化したりしながら学校評議員会と連動した組織づくりを進めていきたいと考えています。本校はこれまでも地域に支えられ、学校周辺の小・中・高校との交流及び共同学習をはじめ、長崎女子短大との協働した活動や同短大の施設を使用させていただいての調理実習等多くの協力を得てきました。地域の商店、銀行、郵便局、交番などにおいても教育活動の面で大変お世話になっているところです。

これからは、組織運営に直結した地域の参画を目指して、何を、どう進めていくかの道筋を学校全体で共有し、よりよい組織開発へとつなげていきます。

3 大人が輝けば子供たちの夢は増える

本校は、令和11年度に創立50周年を迎えます。卒業した子供たちが誇れる学校としてその伝統を受け継ぎ、さらによりよい学校にしていく決意が、現在の私たちの姿であり、長特の未来への羅針盤になると思っています。教職員が笑顔で仕事をしていたら子供たちはそれを夢にする。教職員が輝けば子供の夢は増える。子供たちの夢を増やすために、私たちは笑顔を忘れず輝いていたいと思います。

